



安威川ダムJV通信

発行：大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発 特定建設工事共同企業体 安威川ダムJV工事事務所一同

年頭のご挨拶



安威川ダムJV工事事務所
所長 羽田武司

新年あけましておめでとうございます。日頃は安威川ダム建設工事にご協力いただきましてありがとうございます。近隣の皆様ならびに発注者のご支援のお蔭で、ダム工事は順調に進捗しております。また皆様に心配をおかけしないよう安全第一で作業を進め、大きな事故や災害もなく一年半が経ちました。JV職員一同、今年もこの姿勢を継続して参る所存ですので、よろしくお願いいたします。当JVでは、今年のテーマを『和(輪)』と定めました。これは、みんなに愛される安威(愛)川ダムを力合わせて築き上げたいという願いを込めたものです。我々は企業体内だけでなく、地元の皆様や発注者との繋がりを一層大切にしながら、共にダム建設の歩みを進めていきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

topics

工事現場トピックス

バッチャープラント施工中



右岸堤敷保護工施工中



「森の教室」開催

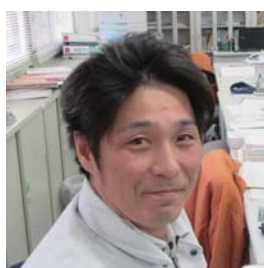
十二月十二日(土)、安威川ダム資料館にて信州大学の原三知准教授をお招きして、「森の教室」を開催いたしました。当日は四十名を超える方々に参加して頂き、イギリスでの成功事例の紹介や森林が持つリラクゼーション効果など、森をより身近に感じる講座をプレゼン形式で実施しました。今回参加して頂いた方々の「森」に対する興味も少しも深まり、周辺環境の保全や皆様の健康づくりにお役立てできれば幸いです。次回は、二月二十七日に「地域の森」の教室を開催致します。詳細は当紙面、HP等でお知らせします。乞うご期待下さい。

森の教室の様子

【今月の重機】



今月の重機はホイールローダーです。主に土砂や砕石などの粉体をダンプトラック積み込んだりする建設機械です。バックホウより一度に大量の土砂を積み込むことが出来ますが、ゴムタイヤで走行するためクローラー(キャタピラ)のブルドーザーと比べて掘進力は弱いので掘削作業はあまり得意ではありません。



TS 株式会社
川口 幸政 かわぐちゆきまさ

現場の達人 vol.15

毎号リレー方式で、安威川ダムJV工事事務所の「現場の達人」を紹介します。

はじめまして。TS株式会社の川口です。業務内容は3DCADを使って現場全体の施工計画、仮設計画を行っています。安威川ダム建設工事では、情報化施工・3Dガイダンスによる施工管理等、最新技術により工事を進めていきます。具体的には、パソコンの中で仮想の安威川ダムを立体的に作って施工検討を行い、すべての人にわかりやすいイメージ資料・図面・施工データを作成します。その後、それぞれの分野の作業を進めて実際の安威川ダムを造り、様々なデータを取りまとめ、施工結果を残していく技術です。これらの一連の作業を、現場主体で進めている土木現場はまだ少なく、システムがうまく進むように日々頑張っています。ダムの施工の現場は初めてですが専門的技術を駆使して、自分ができることを精一杯行い、これまで私が見てきたどのダムよりも美しく、色々な人に愛されるダムを造れるように、頑張ります。

安威川ダムJV工事事務所 新職員紹介



【氏名】 江越大地(えごしだいち)
【役職】 工事係
【所属】 日本国土開発
【年齢】 二十四歳
【趣味】 ボーリング

【安威川ダム建設工事への意気込み】
平成二十七年十一月より赴任いたしました。今まで経験してきた現場とは桁違いに大きい現場で少し圧倒されましたが、無事故・無災害を目標に最後まで頑張ります。宜しくお願いいたします。

昨年は安威川ダム周辺にて、いろいろなイベントを開催させて頂く事が出来ました。参加された方々より、楽しかったとの感想を頂き、日々、私共の励みになっております。二〇一六年を迎え、安威川ダム建設工事今年で三年目を迎えます。昨年末よりコンクリート製造設備(バッチャープラント)の基礎工事も始まり、また、堤体の右岸におきましても、ロック材の盛立てを行うまでに、基礎地盤が風化するのを防ぐようモルタルの吹き付け工事を行ったりと工事現場の状況も日々変わってきています。

工事の進捗状況、イベントのお知らせなど、安威川ダムに関するいろいろな情報は安威川ダムファンづくり会で立ち上げた、総合サイト『AIGAWA.jp』にて順次更新しておりますので、ぜひご覧ください。

大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発
特定建設工事共同企業体
安威川ダムJV工事事務所一同

TEL 072 (648) 54664
FAX 072 (648) 54665
情報サイト (URL <http://www.aigawa.jp/>)